全体	No.１３
個別	03-01

平成２８年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備
	項　目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。	
	内　容	観光案内・誘導板の設置により、観光情報提供機能の強化を図るとともに、観光資源までのスムーズな誘導を促し満足度の向上を図ります。	
	指　標（数値目標）	【今年度】 ・観光案内・誘導板を島内全域に１５基設置予定 【達成年度】 ・２９２基（設置、改修）予定	
	達成時期	平成３０年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
観光案内・誘導板補助金承認ヒアリング	↔	↔										
観光案内・誘導板設計			↔	↔								
観光案内・誘導板事業入札					↔	↔						
観光案内・誘導板設置								↔	↔	↔	↔	↔

全体	№１４
個別	03-02

平成２８年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	観光客誘致による活性化
	項　　目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大	
	内　　容	・①～③の対馬３大イベントをはじめとする国際交流イベントの開催支援を行い、国内外の交流人口の拡大を図ります。 ①対馬厳原港まつり ②国境マラソンIN対馬 ③つしま海道音楽祭 ・通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国をはじめとする東アジアからの観光客の増加を図ります。 ・朝鮮通信使の関係資料をユネスコ記憶遺産に登録する活動を支援します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ・国境マラソンIN対馬　参加者数　1,400人 ・対馬厳原港まつり　観客数　31,000人 ・対馬海道音楽祭　観客数　800人 ・韓国人観光客数　220,000人 ・朝鮮通信使セミナーの開催（支援）　3回 【達成年度】 ・平成29年3月	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
国境マラソンIN対馬				●								
対馬厳原港まつり					●							
つしま海道音楽祭					●							
国際交流事業支援	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
ユネスコ記憶遺産登録推進事業支援	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

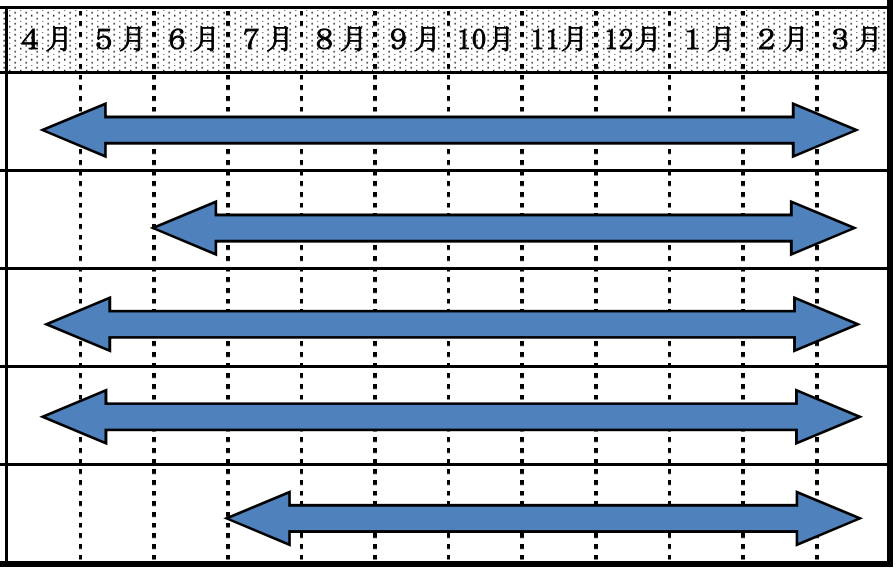
全体	№１５
個別	03-03

平成２８年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

№.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	ワクワクする新しい仕事の創造
	項　　目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。	
	内　　容	市内商店街は、人口の減少や過疎高齢化などによりに以前の活気が失われ、にぎわいが低迷し続けています。 しかしながら増加している韓国人観光客などの消費を取り込むことが出来れば、商店街の活性化につながる絶好の好機でもあります。 この状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えをしていきます。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 商工業活性化の協議　　年３回 対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金 対馬市農商工連携支援事業補助金 対馬市中小企業振興(創業)資金融資条例（制度融資） 中小企業事業継承補助金及び顧客満足度向上設備導入補助金 【達成年度】 同　　上	
	達成時期	平成２９年３月	

スケジュール



全体	№１６
個別	03-04

平成２８年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	観　光　商　工　課

№.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	地場産品に高付加価値をつける
	項　目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。	
	内　容	物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品ＰＲ・販路開拓を図ります。 福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のＰＲと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。 情報発信の拠点として「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、ＰＲ・集客・誘客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。 商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。	
	指　標 （数値目標）	【今年度】 ・九州管内での物産展等の開催　５回以上 ・各種物産展の企画・出展・斡旋　１０回以上 ・海山交流イベント　５回 【達成年度】 ・同　上	
	達成時期	平成２９年３月	

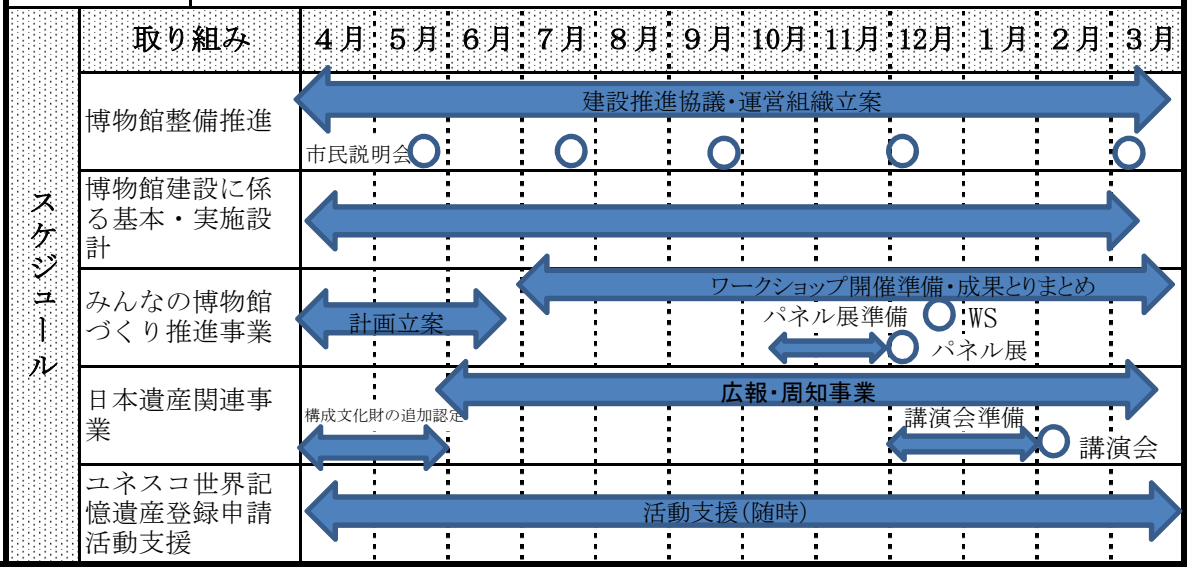
スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
物産展	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
特産品ＰＲ	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
対馬産品取扱店舗開拓	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
商品づくり勉強会・バイヤー商談会	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
海山交流事業	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	No.１７
個別	03-05

平成２８年度［観光交流商工部］　組織目標

課　名	文化交流・自然共生課 博物館建設推進室

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	歴史・文化を未来に残す

	項　　目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
	内　　容	1　対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。 2　認定された日本遺産を活用し、広く周知することで対馬の魅力アップを図ります。また、北部での構成文化財の追加認定を行います。 3　朝鮮通信使の世界記憶遺産登録申請へ向けて、その活動支援を行います。
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 1　①建設に係る国・県との協議及び運営に係る組織立案 ②基本・実施計画 ③みんなの博物館づくり事業の推進（WSの開催1回3会場・パネル展1回） ④市民説明会の実施（5回） 2　①日本遺産の市内外への周知活動（講演会実施１回） ②構成文化財の追加認定申請（北部2件） 3　①関係会議への参加 ②随時の支援・助言 【達成年度】 1　対馬博物館（仮称）の完成　平成３０年度 2　日本遺産構成文化財の追加認定（北部）　平成２８年度
	達成時期	平成３１年３月：（施設完成目標）